

計画停電による影響と対応策 ～ ライフラインの確保 ～

	想定される影響	規模・箇所数	対応策	機関名
警察	信号機が停止。	信号機は、全道で約13,000機。	<ul style="list-style-type: none"> ◆大きな交差点などについては、警察官を配置し交通整理を行う。 ◆警察官がいない交差点もあるので、速度を十分落として通行するようホームページ等で注意喚起を図る。 ◆携帯電話、公衆電話で通報するようホームページ等で周知を図る。 	北海道警察本部
	固定電話について、その機種によっては通話できなくなり、110番等の緊急通報が困難。			
道路	『高速道路は「本線の照明」、「500m未満のトンネル照明」、「道路情報板」の一部は点灯しない。また、可変式速度規制標識が作動しない。なお、自家発電設備により、料金所・ETCは問題がなく、500m以上のトンネルは点灯する。』 国道及び道道の照明が点灯しない。トンネル内の照明や道路情報板等が点灯しない。	高速道路 (総延長約964km) 国道 (総延長約6,393km) 道道 (総延長約11,477km)	<ul style="list-style-type: none"> ◆高速道路は、標識車等を配置し安全性を確保するとともに、可変式速度規制標識の対応については警察と協議中。 ◆国道については、看板や人員を配置するなど工夫し安全性を確保する。 ◆道道について、人員を配置するなど工夫し安全性を確保する。 	NEXCO東日本 北海道開発局建設部 北海道建設部
鉄道	信号機が作動せず電車の運行ができない。	契約件数は、全道で2,700件。	鉄道への影響がある場合は、ホームページや駅の掲示などで利用者に周知する。	北海道旅客鉄道(株) 7/20JR北海道(株)ニュー スリリース(14:00)
	踏切の遮断機、警報機が作動しない。			
	駅舎内の照明、放送等が使用できない。			
水道	停電により一部断水の可能性がある。	水道事業者100 簡易水道事業者304 水道用水供給事業者5	<ul style="list-style-type: none"> ◆自家発電設備がある場合は、点検、試運転、燃料確保を行う。 ◆断水の可能性がある場合は、供給区域への広報体制の整備を図る。 ◆断水が生じた場合、支障の大きな特別な施設(医療機関、透析センター等)の把握と応援給水体制の確保を図る。 	各水道事業者等
	ビル・マンション等については、水道関連設備の停電により、断水の可能性がある。	—	◆あらかじめ、くみ置き水などを準備。	各ビル・マンション管理者
ガス	換気扇が作動せず換気が充分にできない。	都市ガス 約56万件	<ul style="list-style-type: none"> ◆北ガスの対応 <ul style="list-style-type: none"> ・7月13日～8月13日検針時にチラシ配布(45万枚) ・ホームページで停電時の機器使用について「お知らせ」 ・新規開栓時にチラシを手渡し注意喚起を図る。 ◆他のガス事業者もチラシやホームページ等で注意喚起を図っている。 	日本ガス協会北海道部会(10事業者) 簡易ガス事業者(57事業所) 北海道LPガス協会(1,603販売事業所)
	夜間はガス機器がよく見えず操作を誤るおそれがある。	簡易ガス 約13万件		
	ガス警報器が作動しない。	LPガス 約218万件		

お問い合わせ先 北海道経済部産業振興局環境・エネルギー室
 参事 田中 進也
 電話:011-204-5361 内線26-153